



“未来に向けて みんなでつくろう！ 住みたい・住み続けたいまち”

8月28日、市内で自主防犯パトロールを行う、小笠原さん、木原さん、藤村さんと、市長室にてふれあいミーティングを行いました。

◆活動を始めたきっかけと活動内容

地域の自主防犯パトロール隊が高齢化によりメンバーが少なくなっていることを知った小笠原さんが、サークル仲間にも声をかけ、女性6人の1チームを結成。これまでのパトロール隊と合わせて4チームで交代しながら、週1回、地域のパトロールを行っています。今までのメンバーは男性だけでしたが、「女性ならではの視点で地域を見ることができるのでは。」との思いから、今年4月に女性チームとして活動をスタートしました。

◆活動を通して感じたこと

おそろいの緑のベストと帽子を着用していることで、地域の方から声をかけてもらう機会が増え、「がんばってください」と声を掛けてもらえることや、挨拶を交わす人が増えたことがうれしいと言います。

また、パトロールをする中で、これまで気付かなかった地域の様子を改めて知ることができ、愛着もより深まったそうです。

中でも、特に印象に残っている出来事は、初パトロールの記念に、綺麗に咲いた藤の花を背景にして写真を撮ろうとしていると、通りかかった大網高校の生徒が、「シャッターを押しませんか」と親切に声を掛けてくれたことです。高校生からの思いがけない声かけに「パトロール活動へのご褒美」のように感じたそうです。

一方で、活動を通して気になることもあります。それは、道に落ちているごみ。パトロール中にごみを拾うと、ごみ袋いっぱいになるほど集まったことがあるそうです。「ごみを捨てる人にも、私たちのように地域を見守っている人がいることを知ってもらいたい」と話していました。



▲声を掛けてくれた高校生と



▲自主防犯パトロールを行う皆さんと



▲対談の様子

◆これからの活動に向けて

「女性ならではの視点で、安全と防犯のチェックをし、地域に元気や明るさも届けていきたい」と、これからの活動への思いを語ってくださいました。

終始、和やかな雰囲気の中で、地域への思いや活動への楽しさをたくさんお話しいただきました。